

オプトアウト(ver2)

千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

研究課題(研究番号)	同種移植後に発症するフサリウム症の臨床的特徴と予後予測因子
種別	<input type="checkbox"/> 特定臨床研究 <input checked="" type="checkbox"/> 特定臨床研究以外
申請区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新規申請 <input type="checkbox"/> 変更申請
当院の研究責任者(所属)	自治医科大学附属さいたま医療センター血液科 学内准教授 木村俊一
多施設共同研究の場合、主たる研究機関および研究責任者(所属)	日本造血・免疫細胞療法学会
研究の目的	本研究では同種移植後のフサリウム症の臨床的特徴、予後予測因子について検討します。フサリウム症を発症された患者さんに関するより詳細な情報を二次調査票を用いて収集し、データベースに登録されているデータ(特定の個人を識別することができないよう研究用の符号が付けられている。)とともに研究に用います。
対象となる調査期間	研究期間:臨床研究等許可決定後～2026年3月31日まで
対象となる患者様	①2006年1月～2021年12月の期間に同種または同系ドナーより造血細胞移植を実施され、全国調査に登録された症例 ②「その他の真菌感染症_その他の真菌感染症の有無」が有、その原因真菌がフサリウムと報告されている、あるいは「その他の感染症1」～「その他の感染症5」が「有」で「病原体」としてフサリウムが報告されている症例
使用する情報、試料等([○]の項目を利用します)	[]血液、[]唾液、[]毛髪、[]病理組織、[]排泄物(尿・便)、 [○]診療記録、[○]臨床検査データ、 []その他(空白に記載)
情報や試料の他の研究機関への提供およびその方法	日本造血細胞移植データセンターより提供された、個人情報が出られないよう研究用の符号が付けられたデータ(疾患、移植法、移植成績等)、及び二次調査票のデータ(こちらも、個人情報が出られないよう、改めて研究用の符号が割り当てられる)を解析に用います。
研究期間	研究期間:臨床研究等許可決定後～2026年3月31日まで
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
備考	診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利な取り扱いを受けることはありません。

申請日 2024年5月31日

入力者 小野田 昌弘

終了日

入力者

試験が終了したら、上記を入力の上事務局までご連絡下さい。
HP掲載を終了します。